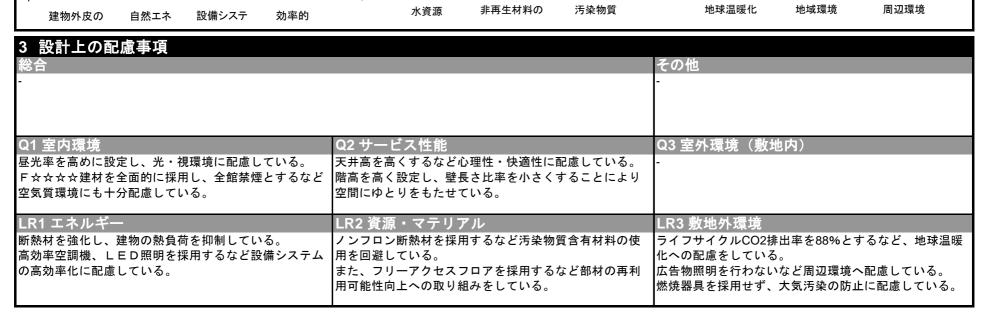
筮) ▮評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)







- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

2.2

CASBEE-建築(新築)2016年版 浦和実業学園中学校・高等学校(新2号館) ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

ベコアシ	ノート	実施設計段階		-				
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		重み 係数	評価点	重み係数	】 全体
建築	物の環	造品質			1余致		1余致	2.8
1 室内		PO HA SE			0.40		-	3.2
1 音環				3.0	0.15		-	3.0
	.1 室内騒	音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.	.2 遮音			3.2	0.40	-	-	
		開口部遮音性能		3.0	0.30		-	
		界壁遮音性能		3.0	0.30	-	-	
		界床遮音性能(軽量衝擊源)		3.0	0.20	-	-	
		界床遮音性能(重量衝擊源)	教室Lr-55	4.0	0.20		-	
1.	.3 吸音			3.0	0.20	-	-	
2 温熱				2.9	0.35	-	-	2.9
2.	.1 室温制]御		3.6	0.50	-	-	
		室温	冬期22℃、夏期26℃の設備容量を確保している	4.0	0.60	-	-	
	2	外皮性能		3.0	0.40		-	
	3	ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.	.2 湿度制			1.0	0.20	-	-	
	.3 空調方			3.0	0.30		-	
	視環境			3.0	0.25	-	-	3.0
	.1 <u></u>	用		4.2	0.30	-	-	
0.		<u></u> 屋光率	昼光率:2.56%	5.0	0.60		-	
		方位別開口		-	-		_	
		昼光利用設備		3.0	0.40	-	_	
3	.2 グレア			3.0	0.30		_	
"		昼光制御		3.0	1.00		_	
2	.3 照度	<u> </u>	設計照度622lx	4.0	0.15			
	.4 照明制	御	DXH1 M(1/X 0221)	1.0	0.13		_	
	.年 照 95 m) Juch		4.0	0.25	-	-	4.0
	<u>.1 発生源</u> .1 発生源	<i>하호</i>		4.0	0.23	-	-	4.1
4.		化学汚染物質	F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	-	-	
-		11.子乃采初貝	「				-	
4.	.2 換気	松左 見	建築基準法および建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上	4.0	0.30	-	-	
		換気量	建宗基準法のより建築物開生法を何に9 換気量の1.46以上 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上	5.0	0.33	-	-	
		自然換気性能	日然換え有効用ロ曲傾か店主体曲傾の1/13以上	4.0	0.33		-	
		取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-	
4.	.3 運用管			4.0	0.20	•	-	
		CO ₂ の監視	全館禁煙としている	3.0	0.50		-	
<u> </u>		喫煙の制御	主朗宗煌としている	5.0	0.50	-	-	0.4
	ービス性能	毛		-	0.30	-	-	3.2
1 機能		- /tr. \b-t-\chi		3.5	0.40	-	-	3.
1.		・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
		広さ・収納性			-		-	
		高度情報通信設備対応	ジロマコリ	4.0	-	-	-	
		バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	1.00		-	
1.	.2 心理性		工 # 京 0 7	3.0	0.30	-	-	
		広さ感・景観	天井高2.7m超	5.0	0.50		-	
		リフレッシュスペース			-		-	
		内装計画		1.0	0.50	-	-	
1.	.3 維持管			3.5	0.30	٠	-	
		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
		維持管理用機能の確保	掃除用具室にSKを設けている、天井点検口は600mm角としている	4.0	0.50		-	
	月性·信頼			2.7	0.30	-	-	2.
2.		免震·制震·制振		2.2	0.50	-	-	
		耐震性(建物のこわれにくさ)		2.0	0.80	-	-	
		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.		部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁:タイル貼:40年	5.0	0.20	-	-	
			天井:RW吸音板:30年、壁:PB+塗材:20年、床:ビニル床タイル:20年	5.0	0.10	-	-	
		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:塩ビ:B、汚水、雑排水:塩ビ:B、冷媒管:銅管C、Eは不使用	4.0	0.20	-	-	
		主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20		-	
2.	.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
		空調•換気設備		3.0	0.20		-	
		給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
		電気設備		3.0	0.20	-	_	
		機械·配管支持方法		3.0	0.20		_	
	/	1187 1145 FILE X 15T / 17/1		0.0	0.20		ž.	

1 協口のかとリ 担果のかとリ 担果のかとリ 2 関係のかとリ 2 関係のかとリ 2 関係のかとリ 3.2 信仰のかとり 3.3 を行の更新性 2 総非水質の更新性 7 対象を関係の更新性 7 対象を関係の更新性 3.0 のの		La	Let.						
1 日東帝の比し日本語の					3.4	0.30	-	-	3.4
2 国際の政化自動会 5点に知知	3.1				4.0		-	-	
3.2 金型のからり 3.0 0.0 0		1	階高のゆとり		4.0	0.60		-	
3.3 世紀の更相性		2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.21	4.0	0.40	-	-	
33 世の見で性 14 0.00 0.00	3.2				3.0	0.30		-	
1 空配管の更新性								_	
2 総別水型の更新性	0.0							_	
3								-	
3 以名元和の支票性 対象を励のことが、実際に対象を表明をあができる 50 0.10 1		2	福排水官の史新性		3.0	0.20		-	
### 100 -		3	雷気配線の再新性		5.0	0.10		_	
1		Ů	电気品派の文材は		0.0	0.10			
1 日本の日本の企業		1 , 1	ほ 信 司 娘 の 声 蛇 性		5 0	0.40			
3		4	週信配様の史新性	電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10		-	
3		5	設備機器の更新性		3.0	0.20		_	
3									
1 生物環境の含と4								-	1.0
2 まちなか・養養への配慮 3.1 地球性へのには、快速性の向上 3.0 0.50 2.2 3.1 地球性へのには、快速性の向上 3.0 0.50 3.2 2.1 2.5 0.30 2.2 3.2 数型内に関係は関係を使用 2.0 0.50 3.2 3.2 数型内に関係は関係を使用 3.0 0.50 3.2 3.2 数型内に関係は関係を使用 3.0 0.50 3.3 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2							-	-	1.8
3 世域セーアルニース (1 生物理	環境の保	マスト マスト マスティン マイス マイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア		1.0	0.30		-	1.0
3.1 地域性への配産、快値性の向上 3.2 単数内の対策を持つ信き権を 1.2 主教が大子の高数資料を 9P4m=0.59 1.1 建物が皮の動資資料制 9P4m=0.59 1.2 自然エネルモー利用 9.20 3.0 0.50 3.1 建物が皮の動資資料制 9P4m=0.59 1.2 自然エネルモー利用 9.20 3.0 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.5 0.50 3.6 0.50 3.7 0.50 4.2 湿用管理体制 4.1 1 モニタリング 4.2 湿用管理体制 4.1 1 モニタリング 4.2 温用管理体制 4.1 1 モニタリング 4.2 温用管理体制 1.1 即水・1.0 0.40 3.1 1 即水・1.0 0.40 3.2 2 非常生性質別の使用回射域 2.2 既存生を結構におけるリヤイント本の使用 2.3 8 体が出来がに対するリサイクル中の使用 2.4 能体料和助けに対するリサイクル中の使用 2.5 音技育のを監定者体が高に分の財用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の発用回着 3.1 日本資産を含またが材め使用 3.1 日本資産を含またが材めの使用 3.1 日本資産を含またが材めの使用 3.1 日本資産を含またが材めの使用 3.1 日本資産を含またが材め使用 3.2 アン・ハロンの回避 1.1 用水・利・2 0.00 3.1 世界を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めを使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対象に対めるが対めの対象を使用していない 3.2 単独規度を含またが対象に対めるが対象を使用していない 3.3 月強度を使用していない 3.3 月強度を使用していない 3.3 月強度を使用していない 3.3 日本の対象を使用していない 3.3 日本の対象を使用 3.3 0.00 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の対象を使用 3.3 0.00 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の対象を使用 3.3 0.00 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の	2 まちた	なみ・景観	見への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3.1 地域性への配産、快値性の向上 3.2 単数内の対策を持つ信き権を 1.2 主教が大子の高数資料を 9P4m=0.59 1.1 建物が皮の動資資料制 9P4m=0.59 1.2 自然エネルモー利用 9.20 3.0 0.50 3.1 建物が皮の動資資料制 9P4m=0.59 1.2 自然エネルモー利用 9.20 3.0 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.5 0.50 3.6 0.50 3.7 0.50 4.2 湿用管理体制 4.1 1 モニタリング 4.2 湿用管理体制 4.1 1 モニタリング 4.2 温用管理体制 4.1 1 モニタリング 4.2 温用管理体制 1.1 即水・1.0 0.40 3.1 1 即水・1.0 0.40 3.2 2 非常生性質別の使用回射域 2.2 既存生を結構におけるリヤイント本の使用 2.3 8 体が出来がに対するリサイクル中の使用 2.4 能体料和助けに対するリサイクル中の使用 2.5 音技育のを監定者体が高に分の財用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の定用 2.5 音技育の能な資料の発用回着 3.1 日本資産を含またが材め使用 3.1 日本資産を含またが材めの使用 3.1 日本資産を含またが材めの使用 3.1 日本資産を含またが材めの使用 3.1 日本資産を含またが材め使用 3.2 アン・ハロンの回避 1.1 用水・利・2 0.00 3.1 世界を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対めを使用 3.3 月強度を含またが対めの使用 3.3 月強度を含またが対象に対めるが対めの対象を使用していない 3.2 単独規度を含またが対象に対めるが対象を使用していない 3.3 月強度を使用していない 3.3 月強度を使用していない 3.3 月強度を使用していない 3.3 日本の対象を使用していない 3.3 日本の対象を使用 3.3 0.00 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の対象を使用 3.3 0.00 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の対象を使用 3.3 0.00 3.3 日本の対象を使用 3.3 日本の	3 地域1	性・アメニ	ニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
32 数地の高熱理技の向上 R 達を特的の経費者の動き 500 0.20 5.5 2 自然エネルギー					3.0	0.50		-	
R									
正式 エネルギー 単物外原の熱量荷物物 SPhin=0.59 5.0 0.20 5.5 2 自然エネルギー利用 2.0 0.10 3.4 0.00 3.5 0.00 3.5 0					2.0	0.50	•		0.0
1 世紀大皮の熱食質物物 5PIP-059			現境人			-		-	3.2
2 自然上水上ギー利用 2.0 0.10 2.1 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.3 3.0 3.2 3.3 3.0 2.5 0.20 2.2 2.5 0.20 2.2 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td>0.40</td> <td>- ;</td> <td>-</td> <td>3.4</td>					_	0.40	- ;	-	3.4
2 自然上水上ギー利用 2.0 0.10 2.1 3.4 0.50 3.4 0.50 3.4 0.50 3.3 3.0 3.2 3.3 3.0 2.5 0.20 2.2 2.5 0.20 2.2 <td>1 建物</td> <td>外皮の熱</td> <td>热負荷抑制</td> <td>BPIm=0.59</td> <td>5.0</td> <td>0.20</td> <td>•</td> <td>-</td> <td>5.0</td>	1 建物	外皮の熱	热負荷抑制	BPIm=0.59	5.0	0.20	•	-	5.0
3 数略/ステムの高熱率化 DELITERNI - 0.76					2.0		-	-	2.0
4				[BEI][BEIm] = 0.76				_	3.4
#会性生以外の評価				[5-1.][5-1.11]					2.5
4 モニタリング	4 刈平							-	2.5
4.1 〒ニタリング						ŀ	-	-	
#台住宅の評価					3.0	0.50		-	
#台住宅の評価		4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
41 モニタリング						_		_	
LR 2 選用管理体制						_		_	
TRZ 養護・マデリアル						_		-	
大変編保護						-	-	-	
1.1 前水			アル		_		-	-	
12 雨水利用 - 44排水等の利用	1 水資	源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
12 雨水利用 - 44排水等の利用	1.1	1 節水			1.0	0.40	-	-	
1 雨水料用システム等入の有無 3.0 0.70 3.0 0.30 3.0 0.70 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.20			用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	_	
2 排海火性関係の使用量削減 3.4 0.60 2.1 材料使用量の削減 3.4 0.60 2.2 既存建築級体等の継続使用 3.0 0.20 2.3 版林料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.20 2.4 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.0 0.10 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 5.0 0.20 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.3 0.20 3.1 書物質を含まなし材料の使用 3.0 0.30 3.2 フロン・ハロンの回避 3.5 0.70 1 消火剤 0.00 2 発泡剤(断熱材等) 0.00 3 冷球 0.00 LR3 敷地外環境 0.00 2 地球環境への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.4 0.33 2.1 大気汚染防止 2.2 地球環境への配慮 2.2 地球環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.0 0.50 2.3 地域・アクラへの負荷抑制 3.0 0.26 - 0.30 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.26 - 0.26 3 原資・販助・悪臭の防止 3.0 0.26 - 0.26 3 原連機のの配慮 3.3 0.30 0.26 2 接触機・外配理者荷抑制 3.0 0.40 - 0.26 2 活動型の機・の配慮 3.3 0.30 0.26 2 接触列のの配慮 3.0 0.40 - 0.26 3 配機のの配慮 3.0 0.40 - 0.26 2								_	
2 非再生性資源の使用量削減 3.4 0.60 3.6 2.1 材料使用量の削減 2.0 0.10 2.2 販存律業系体等の経域使用 3.0 0.20 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.0 0.10 2.5 持続可能な森林から廃出された木材 2.0 0.10 3 万美物質含有材料の使用回避 3.3 0.20 - 3.1 有言物質含含またい材料の使用 3.3 0.20 - 3.1 有言物質含含またい材料の使用 3.0 0.30 0.30 3.2 プロン・ハロンの回避 1 消火剤 3.0 0.03 - 2 免急剂所断財材等 0DP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用 4.0 0.60 - 2 地球運搬化への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.4 0.33 - 3.4 2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない 5.0 0.25 - 2.2 2.2 連絡環境の設施 3.0 0.50 - - 2.2 2.2 0.50 - 2.2 2.1 大気汚染防止 2.2 2.2 0.25 - - - - - - - 3.0 - - - - - - - - - - - - - </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>									
2.1 材料使用量の削減 2.0 0.10 2.2 既存建築躯体等の継続使用 3.0 0.20 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.0 0.10 2.5 持続可能な森林から産出された材料 2.0 0.10 3.5 発物質含有材料の使用回避 3.3 0.20 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.0 0.30 3.2 フロンハロンの回避 3.5 0.70 1 消火期 0.0 0.00 2 発泡剤(筋熱材等) 0.0 0.00 3 冷線 0.0 0.00 1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルOO2排出率88% 3.4 0.33 2.1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルOO2排出率88% 3.4 0.33 2.1 大気汚染防止 2.8 0.33 2.2 2.2 油粉環境への配慮 2.0 0.50 2.2 2.1 大気汚染防止 2.0 0.50 2.2 2.2 清粉環境のの設備 3.0 0.25 - 2.1 大気汚染防止 2.0 0.50 - 2.2 清粉環境の開始 3.0 0.25 - 3 原動・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・悪身・	A JL —							-	0.1
2.2 既存建築原体等の総総使用 3.0 0.20 - 2.4 躯体材料いたおけるリケイクル材の使用 ピニル床シート:2Fホール床、断熱村:湿上屋根 4.0 0.20 - 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 級体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能、再利用できるユニット部材としてOAプロアを採用 5.0 0.20 - 3 万染物質含有材料の使用回避 3.0 0.30 0.30 3.0 0.30 3.0 3.0 3.0 0.30 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 - 3.5 0.70 - - - 3.5 0.70 - - - 3.5 0.70 -							-	-	3.4
2.3 躯体材料におけらリナイクル材の使用 - 3.0 0.20 - <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>0.10</td><td></td><td>-</td><td></td></td<>					2.0	0.10		-	
2.3 躯体材料におけらリナイクル材の使用 - 3.0 0.20 - <td< td=""><td>2.2</td><td>2 既存建</td><td>築躯体等の継続使用</td><td></td><td>3.0</td><td>0.20</td><td>-</td><td>-</td><td></td></td<>	2.2	2 既存建	築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 8体+LGS+仕上とし、躯体上仕上材が容易に分別可能、				_	3.0	0.20		_	
2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				ビニル床シート: 2Fホール床. 断熱材·屋 ト 屋根				_	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 再利用できるユニット部材としてOAフロアを採用 5.0 0.20 - 3.3 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.30 - 3.5 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用 4.0 0.50 - 3.6 1 地球湿暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.0 0.50 - 3.1 2 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温粉環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3.0 1 雨水排水負荷低減 2.5 汚水地負荷抑制 3.0 0.25 - 3.3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 3.3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 3.3 及源性のの配慮 3.3 0.33 - 3.4 及源物の配度 3.0 0.25 - 3.3 及源性のの配度 3.3 0.3 0.25 - 3.3 及源性のの配度 3.3 0.0 0.40 - 3.3 及源性のの配度 3.3 0.0 0.40 - 3.3 思愛・原理の助制 2.0 0.40 - 3.3 及源性の印制 2.0 0.20 3.3 及源性の抑制 3.4 0.40 3.0 0.60 - 3.3 及源性の原的抑制 3.4 0.40 3.0 0.60 - 3.3 及源性の原的の抑制 3.4 0.40 3.0 0.60 - 3.3 及源性の原的の抑制 3.4 0.40 3.0 0.60 - 3.3 及源性の原的の形式を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を				— · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_				
2.6 部材の使用回避 3.3 1 有害物質を含まない材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.0 0.30 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.1 (1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 0DP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用 4.0 0.50 3.0 0.50 - 3.3	2.5	りが可	比は林怀から性田された个例	飯井 1,00,1井 토니 - 飯井 토共 토井 18층 모두 2,50 국 45	∠.∪	0.10		-	
3 万染物質含有材料の使用回避	2.6	6 部材の	再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20			
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<u> - н</u> рчу 0)	「1949/11号 昭江三十二、1024次元の	丹かけいこうのエーツト部外としてUAノログを採用	5.0	0.20			
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3 汚染	物質含有	有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.2 プロン・ハロンの回避								_	
1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)									
2 発泡剤(断熱材等) ODP=0, GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用 4.0 0.50 - 3 冷媒 - 0.0 0.50 - 3.0 1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.4 0.33 - 3.4 2 地域環境への配慮 2.8 0.33 - 2.8 2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない 5.0 0.25 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.2 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.3 0.33 - 3.3 3.1 騒音・動・悪臭の防止 3.0 0.0 - - 1 騒音 2 振動 - - - 3 悪鬼 3.2 3.4 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.60 - - - - 3 原産の抑制 3.3 3.4 0.40 - - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.60 - - -	3.2				3.3	0.70			
Table T					-	-		-	
1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.4 0.33 - 3.4 3.4 3.3 - 3.4 3.4 3.3 - 3.4 3.4 3.3 - 3.4 3.4 3.3 - 3.4 3.4 3.4 3.5 3.4 3.5				UDP=U、GWP=5U未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.4 0.33 - 3.4 2 地域環境への配慮 2.8 0.33 - 2.8 2.1 大気汚染防止 点のできる。 2.0 0.50		3	冷媒		3.0	0.50		-	
1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率88% 3.4 0.33 - 3.4 2 地域環境への配慮 2.8 0.33 - 2.8 2.1 大気汚染防止 点のできる。 2.0 0.50	LR3 敷地	外環境			_	0.30	-	-	3.1
2 地域環境への配慮 2.8 0.33 - 2.6 2.1 大気汚染防止 5.0 0.25				ライフサイクルCO2排出率88%	3.4	0.33		-	3.4
2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない 5.0 0.25								_	2.8
2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50									2.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.2 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 魔療物処理負荷抑制 2.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.3 0.33 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 + - 1 騒音 2 振動 - - - - 3 悪臭 3.2 1.00 - <td></td> <td></td> <td></td> <td>がぶかい及事で(大力) くり "みり・</td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td>-</td> <td></td>				がぶかい及事で(大力) くり "みり・			•	-	
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 房辺環境への配慮 2.0 0.25 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 - - - - - - 1 風害の抑制 3.4 0.40 - - - 2 砂塵の抑制 な庭を砂塵が発生しない芝生としている 5.0 0.20 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.20 - - - - - 3.3 光害の抑制 ** ** ** ** -							•	-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 1.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - - 3 周辺環境への配慮 3.3 0.33 - - 3.3 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 -	2.3				2.2	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 1.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - - 3 周辺環境への配慮 3.3 0.33 - - 3.3 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 -		1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制 1.0 0.25 2.0 0.25 3.3 - 2.0 0.25 3.3 - 3.3 3 周辺環境への配慮 3.3 0.33 5.5 3.3 - 3.3 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 5.0 0.4					3.0	0.25		_	
4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25								_	
3 周辺環境への配慮 3.3 0.33 - 3.3 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 3.0 2 振動									
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - <td>0 5 777</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>2.0</td>	0 5 777						-		2.0
1 騒音 3.0 1.00 - <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td>3.3</td></t<>								-	3.3
2 振動	3.1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3.0	0.40	-	-	
2 振動		1	騒音		3.0	1.00	-	-	
3 悪臭		2	振動		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.4 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.60 - - 2 砂塵の抑制 校庭を砂塵が発生しない芝生としている 5.0 0.20 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.20 - - 3.3 光害の抑制 3.7 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 物照明を行っていない 4.0 0.70 - -						_		_	
1 風害の抑制 3.0 0.60 2 砂塵の抑制 校庭を砂塵が発生しない芝生としている 3 日照阻害の抑制 3.0 0.20 3.3 光害の抑制 3.7 0.20 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たし、広告 物照明を行っていない 4.0 0.70	2.0				3 /	0.40			
2 砂塵の抑制 校庭を砂塵が発生しない芝生としている 5.0 0.20 - <t< td=""><td>3.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td></t<>	3.2					-			
3 日照阻害の抑制 3.0 0.20 3.3 光害の抑制 3.7 0.20 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たし、広告 物照明を行っていない 4.0 0.70				<u> </u>			-	-	
3.3 光害の抑制 3.7 0.20				校庭を妙塵か発生しない之生としている	5.0	0.20	-		
3.3 光害の抑制 3.7 0.20		3	日照阻害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.3	3 光害の	抑制		3.7	0.20	-	_	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 物照明を行っていない 4.0 0.70	0.0			「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たし、広告					
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策 3.0 0.30									
		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	•	-	